愛媛大学医学部附属病院を受診している患者さんへ

研究に対するご協力をお願い

愛媛大学医学部附属病院では、医学・医療の発展のために様々な研究を行っています。この研究は、愛媛大学医学部附属病院の臨床研究倫理審査委員会での審査・承認後、当院で病院長の許可を受けて実施しております。

今回の研究では、当院で過去に撮像された頭部 CT 画像を使用します。研究の内容を詳しく知りたい方や、CT 画像を利用してほしくない方は、以下のお問い合わせ先までご連絡下さい。ただし、研究結果が出た後など研究の対象から削除できない場合もありますのでご了承ください。

※CT 画像の利用を拒否された場合でも、あなたが不利益を受けることはありません。

研究課題名	側頭骨モデルを用いた骨導刺激の最適部位に関する検討
研究機関名	愛媛大学医学部附属病院
試料・情報の提供を行う研究機関の長	愛媛大学医学部附属病院 病院長 杉山隆 (試料・情報の提供元の管理責任者)
研究責任者 (個人情報管理者)	耳鼻咽喉科・頭頸部外科 教授 羽藤直人
研究期間	研究機関の長の許可日 ～ 2026年5月31日
対象となる方	2015年1月-2025年7月に愛媛大学医学部附属病院を受診し、頭部ナビゲーション CT を撮像された患者さん5名
利用する試料・情報等	頭部ナビゲーション CT 画像
研究の概要 (目的・方法)	耳鼻咽喉科・頭頸部外科領域では、通常の耳の手術を行っても十分に聴力が改善しなかった方や、生まれつき外耳道が狭い方などに対し、骨が音を伝わる性質を利用した人工聴覚器の埋め込み術を行うことがあります。埋め込み部位によって音の聞こえやすさは変わりますが、どの部位が適切かについて具体的なことはわかっていません。本研究では患者さんの頭部 CT 画像を元に 3D モデルを作成し、複数部位に骨振動を当てよい聴力を得られる適切な部位を解明します。
個人情報の保護 について	患者さんの頭部 CT 画像を、氏名や生年月日等が表示されないよう匿名形式で DVD データ化し日本の医療機器メーカーに提供して頭部の 3D モデルを作成します。本研究は倫理審査委員会に申請し、承認されてから行います。研究結果は学術雑誌や学会等で発表される予定ですが、発表内容に個人を特定できる情報は一切含まれません。二次利用として、当教室員や学生の学習用として供覧する可能性があります。貸し出しや譲渡は原則行いません。
お問い合わせ先	愛媛大学医学部附属病院 耳鼻咽喉科・頭頸部外科 教授 羽藤直人 791-0295 愛媛県東温市志津川 454

愛媛大学医学部附属病院単施設用

情報公開文書 作成日：2025年7月23日 第1版

	Tel: 089-960-5366
--	-------------------